



築港小学校



築港小学校のはじまりは、明治9(1876)年[※]に創立された天保簡易小学校(北校)です。明治45(1911)年には築港尋常小学校(南校)も開校します。しかし、両校とも昭和20(1945)年6月1日の大空襲で消失、廃校となり、築港地区のこどもたちは、一時、三先小学校に通学していました。以前南校があった場所に現在の築港小学校が開校したのは昭和28(1953)年のことです。

今回は、築港小学校1期生(昭和29〔1954〕年卒業)の木戸岡勝造さん、4期生(昭和32〔1957〕年卒業)の嶋田彬さん、辰巳圭作さんの3人にお話をうかがいました。



左から
辰巳さん、
木戸岡さん、
嶋田さん

開校当時は木造校舎で、雨漏りすることもありました。教室が足りなくて二部授業をしていたこともあります。鉄筋校舎が建つのを楽しみにしていて、今はなくなってしまった最初の鉄筋校舎には愛着がありました。校庭は、その頃、市内の小学校の中で一番広かったのが自慢でした。運動

会のときはゆったり競技ができました。敷地が広いので、「築港の森」や「アスレチック施設」などもあり、今も児童が楽しんでいます。

最初は校庭用の土が不足していたためか、発電用にコークスを燃やしたかすを持ってきて撒かれていました。そのため、校庭で遊ぶと真っ黒になったものです。

当時は、地域の人たちはよく小学校に

集まりました。夏休み中には、校庭にゴザを敷き、鉄筋校舎の壁に幕を張って、何度か映画会が催されました。こどもだけでなく地域の人も集まって、いろいろな映画を見ました。その頃はほかにあまり娯楽がなかったのでそれが楽しみでした。

学校からの遠足は中之島公園や天王寺公園など市電で行けるところが多かったです。また、昔は、先生が宿直で学校に泊まっていたので、放課後に勉強を見てもらったり、卒業してから遊びに行ったりしたのも、懐かしい思い出です。



※「港区誌」参照。明治10(1877)年創立となっている資料もある。

第1回運動会
「築港小学校創立50周年記念誌」より